

### 3 生活実感と幸福実感における相関について

生活実感に関する130の設問と幸福実感の相関関係との分析を行い、世代別・性別ごとの相関係数（スピアマンの順位相関係数※）の上位5位まで取り上げた。また、昨年度と同じく「t検定」※を行い、有意水準1%に該当するもの（変化の幅が誤差の範囲を超えて顕著な変化を示しているもの）でもあるかどうかを検討した結果、すべて有意水準1%に該当することを確認した。

#### ※スピアマンの順位相関係数とt検定

スピアマンの順位相関係数とは二つの変数間の相関を調べる手法であり、順序尺度に用いられる。正の相関係数が大きい場合、生活実感と幸福実感の相関が強く、生活実感が高いほど幸福実感も高いか、逆に生活実感が低いほど幸福実感も低いことが多いといえ、今後、生活実感を高めるような取組を推進することで幸福実感も上昇する可能性がある。

t検定とは2組のサンプルの平均値に差があるかどうかを調べる手法であり、本分析においては有意水準1%に該当したものを「変化の幅が誤差の範囲を超えて著しく変化したもの」として取り上げている。

なお、相関係数は-1～+1の値を取り、+1に近いほど正の相関が強く、-1に近いほど負の相関が強いことを意味する。相関係数が+1の場合は正の完全相関、-1の場合は負の完全相関、0の場合は無相関となる。相関関係の目安としては以下のように示されることが多い。

項目	値
強い正の相関がある	+0.7～+1.0
中程度の正の相関がある	+0.4～+0.7
弱い正の相関がある	+0.2～+0.4
ほとんど相関がない	-0.2～+0.2
弱い負の相関がある	-0.2～-0.4
中程度の負の相関がある	-0.4～-0.7
強い負の相関がある	-0.7～-1.0

分析結果からは、市全体では相関係数が最も大きい設問でも0.3であり、生活実感と幸福実感の相関の程度は弱いものが多かった。世代別・性別に見ると、若年層男性で相関の程度が最も強い設問が見られ、また政策分野「景観」「歩くまち」における相関は他の世代別・性別の区分では見られないものであった。中年層は男女とも相関係数が比較的小さかったことと、政策分野「産業・商業」において2設問ずつ相関が見られたことが特徴的であった。高年層は男女とも政策分野「くらしの水」で、中程度の相関がある設問が見られた。

次ページ以降には市全体と各世代別・性別の、いずれも相関係数が大きいものから上位五つの設問を抜き出し、生活実感の肯定的割合と合わせて一覧を示す。

生活実感と幸福実感において相関を示した設問 一覧表

【市全体】

分野	設問文	生活実感の肯定的割合	相関係数
市民生活とコミュニティ	地域の一員として安心して暮らせるまちになっている。	55.0%	0.336
道と緑	道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	46.1%	0.332
文化	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	52.3%	0.312
観光	京都は、市民にとってくらしやすい観光都市である。	58.0%	0.293
消防・防災	京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。	66.2%	0.292

【若年層男性】

分野	設問文	生活実感の肯定的割合	相関係数
景観	京都の暮らしや文化を伝えている京町家が継承されている。	69.0%	0.681
歩くまち	地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	79.3%	0.654
歩くまち	駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている。	34.5%	0.619
国際化	京都では、市民、民間レベルでのさまざまな国際交流が盛んである。	58.6%	0.588
観光	京都市民は、観光客を温かく迎えるなど、京都観光の振興に協力的である。	72.4%	0.562

【若年層女性】

分野	設問文	生活実感の肯定的割合	相関係数
市民生活の安全	事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にさせるまちになっている。	46.6%	0.414
道と緑	道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	48.6%	0.405
子育て支援	必要ときに健康相談を受けたり、病院に行けたり、安心して子どもを生み育てることができる。	46.6%	0.404
文化	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	73.6%	0.381
観光	子ども連れの家族や若者、ビジネス客など、新たな京都ファンが増えている。	58.9%	0.378

【中年層男性】

分野	設問文	生活実感の肯定的割合	相関係数
文化	京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。	77.8%	0.387
産業・商業	働くことを希望するひとがいきいきと働ける場を得る機会がある。	9.5%	0.386
道と緑	道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	39.7%	0.386
市民生活とコミュニティ	地域の一員として安心してさせるまちになっている。	52.4%	0.371
産業・商業	京都では、価値を高めるために工夫したものづくりが行われている。	52.4%	0.362

【中年層女性】

分野	設問文	生活実感の肯定的割合	相関係数
市民生活とコミュニティ	地域の一員として安心してさせるまちになっている。	60.4%	0.382
産業・商業	ソーシャルビジネス（社会的企業）が育ってきている。	13.5%	0.341
道と緑	道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	47.7%	0.327

消防・防災	京都には文化財を守る意識が根付いており、文化財を火災などの災害から守る取組が進んでいる。	57.7%	0.306
産業・商業	京都では、さまざまな企業や産業の活動が互いに刺激し合って発展している。	38.4%	0.302

【高年層男性】

分野	設問文	生活実感の肯定的割合	相関係数
土地利用と都市機能配置	身近な地域が魅力的になっている。	35.0%	0.496
くらしの水	京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。	70.8%	0.472
消防・防災	身近なところで防火意識が高まり、出火防止の取組が進んでいる。	44.2%	0.421
道と緑	道路や公園などがバランスよく整備され、魅力ある都市空間が増えている。	44.3%	0.407
市民生活とコミュニティ	町内会、自治会など地域の組織の活動が盛んである。	41.7%	0.376

【高年層女性】

分野	設問文	生活実感の肯定的割合	相関係数
くらしの水	京都の上下水道は、安全で安心していつでも利用できる。	83.8%	0.401
くらしの水	京都の上下水道は、経営が安定しており、将来も安心して使い続けることができる。	70.6%	0.398
保健衛生・医療	安心して食べられる食品が手に入るなど、衛生的な生活環境が整っている。	59.6%	0.382
市民生活の安全	事故や犯罪を防ぐための自治会や警察、京都市などの取組により、安全にくらせるまちになっている。	41.7%	0.380
くらしの水	京都の河川は水がきれいで、水辺に親しみやすい。	71.9%	0.376